

緑が丘

校訓
「ゆたかさ・たしかさ・たくましさ」
学校教育目標
「認め合い、学び合い、高め合う生徒の育成」

平戸市立田平中学校
学校だより 第16号
(令和6年12月)
文責 堀江 泰賢

『実りの秋』の第2学期を終えて ～ 第2学期 終業式・14日間の冬休み ～

本日、第2学期が終了しました。「実りの秋」という言葉のとおり、日々の授業や様々な学校行事、部活動、学級・生徒会活動等を通して、多くの生徒が、心身ともに大きく成長した第2学期だったと思います。しかし、日々の授業で集中して学習に取り組むことができず、自分の能力や可能性を十分伸ばすことができていない生徒がいたことが、とても残念です。3学期は、日々の学習に真剣に取り組んでくれることを願っています。

明日から冬休みに入ります。冬休みは、地域の文化や伝統行事に触れたり、家族の一員としての役割を果たしたりする絶好の機会です。特に、家の仕事やお手伝いなど、家族への「恩返し」をしてほしいと思います。生徒の皆さんが、「自主」・「自立」・「自律」の三つを意識して、有意義な冬休みを過ごしてくれることを期待しています。また、これからインフルエンザや新型コロナが流行するおそれがあります。特に、3年生にとっては、年明けには受験が始まります。冬休み中も「基本的な感染防止対策の徹底」を継続してほしいと思います。

保護者の皆様・地域の皆様には、今学期も本校の教育活動にご理解とご協力を頂きまして、本当にありがとうございました。来年もどうぞよろしくお願い致します。よいお年をお迎えください。

『ともに生きよう』 ～ 令和6年度 人権集会・人権に関する講話 ～

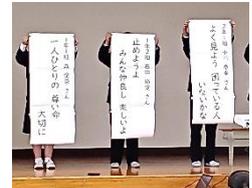
12月9日(月)、人権集会と人権に関する講話が開催されました。人権集会では、各学年の事前学習を基に、1年生は車いす・アイマスク体験など、2年生は高齢者との交流など、3年生は部落差別問題などについて発表しました。また、全校生徒で取り組んだ「人権標語」の優秀作品の紹介もありました。そして、集会の最後には、実行委員会で作成した『田平中学校 人権宣言』が、全校生徒の賛同を得て採択されました。

人権に関する講話では、視覚障害者で盲導犬ユーザーでもある田平町在住の大津かほりさんを講師にお迎えし、日常生活や盲導犬のことについて、また、生徒の皆さんに伝えたことなど、様々なお話を聴かせていただきました。

これからも、人権に関する学習を深め、人権に関する知識と人権感覚を豊かにしていきましょう。また、いじめや差別のない、すべての生徒と先生がともに安心して生活できる学級・学校、さらには、すべての人が安心して生きていける社会の実現を目指して、まずは、生徒一人一人が、日々の学習にしっかりと取り組んでいきましょう。

【令和6年度『田平中学校 人権宣言』実践項目】

- 一、暴力や暴言、いじめや差別のない安心して生活できる学級・学校を創ります。
- 一、病気や障害について正しく知り、人を大切に作る言動をします。
- 一、みんなが生きやすい社会を創り担う大人になるために、日々の学習にしっかりと取り組みます。



『あなたと私の心と体を守るために』 ～ 令和6年度 デートDV防止学習会 ～



12月18日(水)、デートDV防止学習会が開催されました。この学習会は、市役所企画課が実施している男女共同参画社会の実現を目指す取組の一環として、3年に一度、すべての中学校で行われています。当日は、NPO法人DV防止ながさきの担当者の方を講師にお迎えし、『あなたと私の心と体を守るために』と題して、お話をいただきました。

学習会では、男女交際における対等な関係の大切さや、「アイメッセージ」の大切さ等について、生徒によるロールプレイも交えて学びました。特に、アイメッセージは、非攻撃的自己主張ともいわれ、相手を非難することなく自分の気持ち・考えを相手に伝える手法で、これは男女間だけでなく、まわりの人と望ましい人間関係を築いていく上でも、とても大切なことだと感じました。日々の学校生活で、生徒同士、生徒と先生方の中で、アイメッセージが多く交わされるといいですね。

